

# 私が障害福祉サービス事業所で働くようになった訳

## 障害福祉サービス事業所で働く前

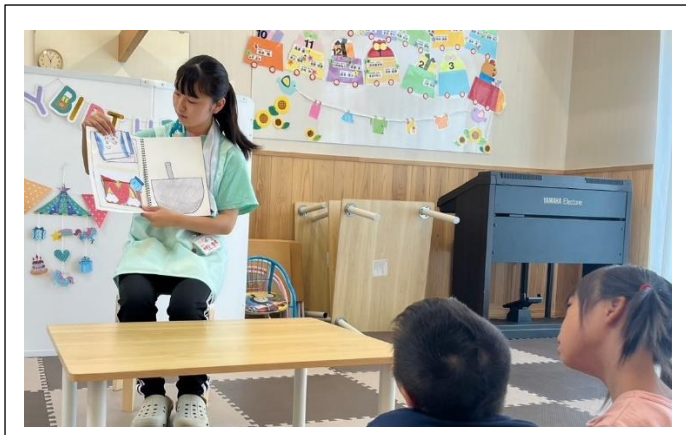
私は母が保育士をしていることもあり、小さい頃から保育士になることが夢でした。そのため、埼玉純真短期大学に進学し保育を勉強しました。学生の頃は幼稚園で働きたいと考えていましたが、実習で障害者施設に行くことになり、健翔会の「麦の穂」で実習をさせていただきました。実習するまでは障害者施設は「大変」「難しそう」などのマイナスのイメージを持っていました。しかし実際にご利用者と関わってみると、一生懸命に作業をしている姿や、楽しそうに会話し活動している姿を見てマイナスなイメージは消えていきました。それから私は障害者施設に興味を持ち、同じ法人内に子どもを対象にした施設があることを知り「にじいろ」「にじいろプラス」の施設の見学に行きました。そこで子どもたちの生き生きとした姿を見て就職したいと思い応募しました。



## 働き始めると

入社後、配置先がにじいろになりました。入社前に障害者の方と関わったのは麦の穂のご利用者だけだったので、初めは子どもたちとの関わり方や声のかけ方、触れても大丈夫かな？などが分からず、戸惑う事ばかりでした。また、子どもたちが今、何をしたいのか、何を伝えたいのかを汲み取って対応することの難しさを感じました。しかし、子ども一人一人の特性や支援





方法の指導を受け、他職員の子どもたちへの声掛けのタイミングや方法を見て学んでいくうちに、子どもたちとの距離も近づき、今は一緒に過ごせることが嬉しく、楽しく感じています。

## これからの私

にじいろの子どもたちはとても成長するスピードが速いです。私も子どもたちの成長のスピードに置いて行かれないように、一緒に成長していきたいと思っています。私の得意なスケッチブックシアターや製作活動などで子どもたちが楽しめるような色々な活動を考えていきたいです。子どもたちの「楽しい・やりたい」を引き出せるように頑張ります。そして、安心してにじいろで過ごせるように常に子どもたちに寄り添った支援を心掛けていきます。



## 所属部署 上司からのひとこと

若いパワーの期待を受けて「にじいろへようこそ!!」と迎えられた安井さん。希望を胸に入社されたましたが、初めは戸惑う事も多かったことでしょう。しかし、毎日子どもたちと関わりながら支援方法を学び、自分の支援を振り返り、最近は自分らしい支援を行っているように感じます。安井さんの無理強いわせず子どもたちに寄り添った支援を大切にしている姿には感心します。安井さんの優しい支援、待つ支援に気づいた子どもたちは自然とあなたを求めて近寄っていきますね。活動の企画や提供にも普段は物静かな感じですが「なんでもやります」と言い、行ってくれる行動力と意欲があります。その姿勢はにじいろの支援の質を高める大きな力になります。これからも子どもたちの思いに寄り添い「たのしい・うれしい」と感じ、安心して過ごせる場所になれるような支援・活動の提供を行っていきましょう。自分の支援に自信を持ち、子どもたちの笑顔を大切にして、共に成長していきましょう。



にじいろ管理者・児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

名前 安井 晴菜 (やすい せいな) 平成16年生まれ  
令和6年4月 社会福祉法人健翔会へ入職  
入職後、健翔会の運営する放課後等デイサービス にじいろに配属される  
健翔会 にじいろ 所在地：行田市谷郷2-16-26 電話：048-598-7898